

学習会〔札幌開催〕

国際森林認証と 先住民族の権利尊重

国際的な森林認証においては、先住民族の権利尊重が規定されており、認証取得する企業として行うべきことが定められています。東京五輪で利用される木材や紙については、先住民族の権利への「配慮」や「尊重」が謳われており、これを満たしていることを確認するために森林認証制度を利用することとなっています。

しかし、日本では森林認証制度自体について、業界における認知度は少しずつ広がってきているものの、十分な理解がないままに利用されている場合もあります。一般消費者に至っては、認知度も低いままとなっています。

そこで、今回は、まず森林認証制度の仕組みと概要と、先住民族の権利尊重についてどのような内容が書かれているのか、東京五輪の調達基準も含めて、その現状と課題について学ぶ機会を持ちたいと思います。

◆スピーカー

川上 豊幸・中司 喬之

(熱帯林行動ネットワーク・JATAN)

坂本 有希

(SUSPON、地球・人間環境フォーラム)

2020 年 **2/26** (水)

15:00 ~ 17:30

於 **愛生館サロン**

(札幌市中央区南 1 条西 5 丁目愛生館ビル 6 F)

※参加無料

◆問合せ先 さっぽろ自由学校「遊」(小泉)

syu@sapporoyu.org Tel.011-252-6752

【主催】熱帯林行動ネットワーク (JATAN)

持続可能なスポーツイベントを実現する

NGO/NPO ネットワーク (SUSPON)

【共催】さっぽろ自由学校「遊」

【助成】環境再生保全機構地球環境基金 (2019 年度)